

別紙

I. 事業評価総括表

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る 整備, 維持補修又は 維持運営等措置	市道下町線 舗装工事	志布志市	4,885,000	4,400,000	市総事業費 4, 885, 000

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業名			
1	公共用施設に係る整備, 維持補修又は維持運営等措置	市道下町線舗装工事			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		志布志市			
交付金事業実施場所	志布志市志布志町大字志布志				
交付金事業の概要	<p>市道下町線は国道220号線に並行して志布志市街地を東西に結ぶ市道です。舗装後30年以上が経過しており、経年劣化による路面の損傷が著しく、路面全般にひび割れや掘りが生じており、車両通行時の振動に関する相談や苦情が寄せられています。周遊をする観光客も増加傾向にあるため、地域住民や観光客の安全を確保するため舗装工事に交付金を充当します。</p> <p>・舗装工 L=185.0m、W=4.5~5.3m、A=860.0㎡</p>				
総事業費	4,885,000	交付金充当額	4,400,000		
		うち文部科学省分 うち経済産業省分	4,400,000		
交付金事業の成果目標	志布志市では、第2次総合振興計画に基づき、安全で快適に利用できる生活道路の整備に取り組んでいます。道路舗装を行うことにより市道の整備率を高めるとともに、快適で安全な通行が確保されることで、地域住民の福祉の向上を図ることを目標とします。				
交付金事業の成果指標	第2次志布志市総合振興計画 市道の整備率 現状値87.2%(平成27年度)→目標値90.0%(平成33年度)				
交付金事業の成果及び評価	市道下町線の道路舗装を行ったことにより、市道の整備率が向上(平成29年度)市道の整備率 実績87.4%)し、地域住民の安全な通行が確保され、福祉の向上が図られました。「市道の整備率」については平成34年度に改めて達成度合いを測定予定です。				
交付金事業の契約の概要					
契約の目的		契約の方法		契約の相手	契約金額
道路工事		一般競争入札		(有)志布志電設	4,885,000
計					4,885,000
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無			無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	H34